

序

新指導要領もいよいよ小学校は46年度から、中学校は47年度から完全実施の時期を迎えますが、各学校においては完全実施をめざして学校経営、学年・学級経営、教科経営等あらゆる面で、研究を進めていることと存じます。そこで本年度は教育論文集の募集にあたっては、新教育課程をふまえた教育経営——望ましい人間形成をめざして——をテーマとして募集したわけがあります。

このたびの応募編数は7編（論説の部1、実践記録の部6）で、数においてはやや少ない感もありますが、内容については、学校経営に関するもの2編、国語2編、算数・体育・道徳それぞれ1編ずつで、いずれも充実した研究であり実践記録であったと思います。

特に今年度の特色としては、学校経営に関するものが2編あったことがあげられます。このような校長・教員による応募は初めてのことでまことに喜ばしい限りであり、心から敬意を表するものであります。

われわれ教師の活動は実践活動と研究活動の2つに分けられますが、研究と実践は表裏一体をなすものであり、実践は研究によってより力強いものとなり、研究は実践によってより確かなものになると信じます。「理論なき実践は盲目であり、実践なき理論は空虚である」ということばがありますが、全くそのとおりだと思います。

まことに僭越ですがそれぞれの研究記録の末尾に担当指導主事に評をつけていただいたので、研究記録とともに読んでいただければ幸いです。これらの貴重な研究記録が多くの先生方の日頃の実践や研究のため役立つことを念願するとともに、各学校における日々の指導活動の中にじゅうぶんいかされて、本市の教育振興発展に寄与されることを期待いたします。

昭和46年3月

足利市立教育研究所長

中 村 章